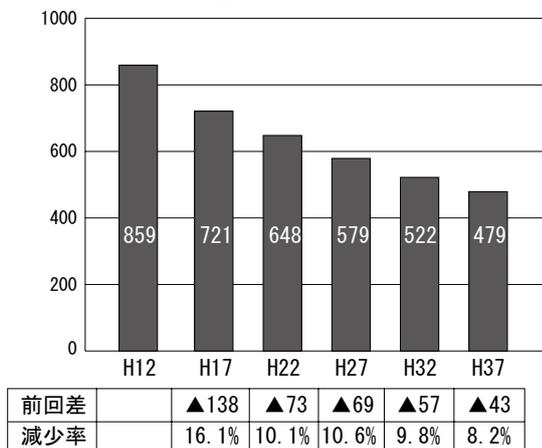


保育所民営化等の 今後の方向性について

町ではこれまで、将来にわたって児童数の減少などが見込まれる中で、白鷹町保育所運営検討委員会を立ち上げ、町内保育所の民営化等（民営化や統合、施設整備など）の今後の方向性について検討してきました。これまでの経過を踏まえ、また、まちづくり座談会や保育園保護者等との意見交換などを行いながら検討を進めてきました。

その結果、「白鷹町の保育所民営化等の今後の方向性について」（案）並びに「白鷹町保育所運営検討委員会の検討中間報告」の概要について報告いたしますので、みなさんのご意見をお寄せ下さい。両（案）の詳細については、中央公民館や町ホームページなどで全文を公開しておりますのでご覧ください。今後、両（案）は町民の皆さんのご意見を踏まえて決定することになります。

未就学児童数（0～5歳）の見込み



①これまでの経過について

少子高齢社会の進行や厳しい行財政の状況などを背景に、平成20年1月17日付で白鷹町保育所運営検討委員会から「白鷹町保育の将来ビジョン」の答申を受け、その具現化に向けて、こぐわ・あゆかい両保育園の統合整備に向けた検討や鮎貝まちづくり事業地内への福祉用地の取得などを行ってきました。

その後、小中学校の再編計画などもある中で、こぐわ・あゆかい両保育園の統合は、再度皆さんのご意見を十分にお聞きした上で進めたいということ、少し時間をいただきたいながら、町内保育所の民営化などの今後の方向性についてこれまで検討を進めてきたものです。また、今年、町は長期計画である第5次白鷹町総合計画の基本計画策定の年

でもあることから、方向付けを行ってきました。

②「保育所民営化等の今後の方向性について」（案）の概要

◇今後の町内保育所の民営化などの方向性については、「白鷹町保育所運営検討委員会」の検討中間報告（※1）に基づき、対応するものとします。

◇検討中間報告中、「4. 老朽化施設の整備の方向性について」には、「最終的には町が決定すべき」となっている項目があることから、これまでの経過をはじめ、まちづくり座談会や地域、保護者会の意見などを踏まえ次の通り対応することとします。

①老朽化しているこぐわ保育園とあゆかい保育園については、保育規模の適正化を図るとともに、効率的な運営・施設整備の観点から2園を統合し、新たな施設として整備します。

②施設整備に伴い常設型の子育て支援センターや学童保育などの併設についても検討し、町の子育て支援の拠点施設としての整備を目指

③施設の設置場所については、次の観点から、鮎貝まちづくり事業地内（四季の郷）の福祉用地とします。

- ・蚕桑、鮎貝地区の双方から利用しやすい位置にある

- ・町の子育て支援の拠点施設として、町内全体から見ても利用しやすい位置にある

- ・子育て支援住宅や工業用地による企業立地など、職住も含めた子育て支援エリアとなっている

- ・都市公園「中丸公園」をはじめとして、文化交流センターや宮の前交流広場、四季の郷交流広場、鮎貝八幡宮など周辺環境も優れている
- ・四季の郷駅が近いことから、フラワー長井線を活用した行事等も可能となる

- ・既に土地開発基金と土地開発公社により1万8500平方メートルの土地を先行取得している